商工だより
No.32

会員増加運動にご協力を



奈良商工会議所

ピッチ上る夢の住宅

（雇用促進住宅）建設工事



既報の会員事業場従業員用の夢の住宅（土地五〇坪建物十五坪鉄筋平屋）の建設は去る二月一日奈良坂町西谷の建設用地において大森会頭、河合建設委員長、小山副会頭他来賓多数の参列を得て起工式を挙行、六月末完工を目標に工事もいよいよ本格化し着々と進んでおり新しい住宅団地が近く生まれようとしている。尚商工会議所が、このような住宅建設をするのは全国的にもきわめて少なく、日本商工会議所、各地商工会議所よりも間合わせがあり注目を浴びている。この家族住宅が竣工すれば、さきに当所が建設した市内事業場従業員用の独身寮みあと寮と共に、福利厚生部門の充実に大きな役割を果たすものと思われる。

目　　次

会員増加運動にご協力を

◎新しい時代に即応して奈良を発展する都市にし、経済の繁栄を期すには、すべての商工業者みな様の力の結集が要件であります。

◎この力の結集体が商工会議所です。

◎商工会議所は企業経営上必要ないろいろた問題を経営者の立場に立って運営するところです。

◎従って、金融、税務、労務関係問題について常に活動しています。

◎無料相談所を置いて、商取引のあっせん、特許関係等も相談に応じています。

◎目下会員増加運動を実施しています。ぜひ未加入事業場をご推せん下さい。

日本染織工業株式会社

取締役社長　越智岩太郎

営業種目

輸出・内需・綿・スフ・純毛・化(合)繊・麻蚊帳その他の製織並に染色整理加工
A、製織(綿・スフ・純毛・化(合)繊・麻蚊帳地・服地・芯地・モスリン・その他)
B、染色(綿・スフ・純毛・化(合)繊・麻織物の染色整理加工「特に樹脂加工」)
キリンモスリン・キリンウール特1号)

本社	奈良市油阪町105	電話奈良㉝4980・5751・5752
本社工場		5753・5754
西大寺工場	奈良市西大寺町	電話奈良㉝5755・5756
京都商事部	京都市中京区蛸薬師通東洞院東入る	電話京都㉑3537・3538・3539
右同寝具部	京都市下京区富小路通5条下る	電話京都㉝3187・3214
大阪営業所	大阪市東区淡路町2丁目野口ビル	電話大阪（203）5908



（株）都ホテル経営
都ホテルチェーン

奈良ホテル

奈良公園　電話（奈良）㉓—4101
テレックス：5522—108

ピッチ上る夢の住宅

（雇用促進住宅）建設工事



既報の会員事業場従業員用の夢の住宅（土地五〇坪建物十五坪鉄筋平屋）の建設は去る二月一日奈良坂町西谷の建設用地において大森会頭、河合建設委員長、小山副会頭他来賓多数の参列を得て起工式を挙行、六月末完工を目標に工事もいよいよ本格化し着々と進んでおり新しい住宅団地が近く生まれようとしている。尚商工会議所が、このような住宅建設をするのは全国的にもきわめて少なく、日本商工会議所、各地商工会議所よりも問合わせがあり注目を浴びている。この家族住宅が竣工すれば、さきに当所が建設した市内事業場従業員用の独身寮みあと寮と共に、福利厚生部門の充実に大きな役割を果たすものと思われる。

目　次

第三十四回議員総会……一
輸出貢献企業の認定申請について……三
振興事業団設立……四
中小企業の経営実態……五
政府国際観光年の基本方針を決定……六
万博ニュース……七
昭和四十二年の経済見通し……山田亮三……八
ガイドポスト・ポリシー……九
中小企業の倒産防止について……一〇
第三回優良土産品審査会開かる……一一
中小企業相談（無欠点運動）仕組みはどういうものか……一二
経営者のための国の共済制度……一三
全国みやげ品展開催……一四
新入紹介……一五
奈良市小売物価動向表……一七
取引照会……一八
菓子作りに一生を賭ける……門倉国輝……一九
当所の巡回スライドフィルム……二〇

日本染織工業株式会社

取締役社長　越智岩太郎

営業種目

輸出・内需・綿・スフ・純毛・化(合)繊・麻蚊帳その他の製織並に染色整理加工
A、製織(綿・スフ・純毛・化(合)繊・麻蚊帳地・服地・芯地・モスリン・その他)
B、染色(綿・スフ・純毛・化(合)繊・麻織物の染色整理加工「特に樹脂加工」)
キリンモスリン・キリンウール特1号)

本社 本社工場	奈良市油阪町105	電話奈良㉝4980・5751・5752 5753・5754
西大寺工場	奈良市西大寺町	電話奈良㉝5755・5756
京都商事部	京都市中京区蛸薬師通東洞院東入る	電話京都㉑3537・3538・3539
右同寝具部	京都市下京区富小路通5条下る	電話京都㉟3187・3214
大阪営業所	大阪市東区淡路町2丁目野口ビル	電話大阪（203）5908

綜合印刷

共同精版印刷株式会社

取締役社長　近東弘七

本社工場	奈良市尼辻町1丁目577	電話奈良 代表(33)6501番
大阪工場	大阪市南区竹屋町7番地	電話大阪 代表(271)7951番
東京工場	東京都文京区小石川4丁目15の15	電話東京 代表(813)7451番

昭和四十二年度
事業計画及び予算を決定
═第三十四回議員総会═

当所第三十四回議員総会は、去る三月十七日（金）午前十時三十分から奈良国際ホテルにおいて開催され、本年度の事業計画（案）及び一般会計収支予算（案）を審議され原案通り可決された。尚末広常議員より動議があった関西線電化及び列車増発については、本議員総会の決議として要望する事となった。また、議員終会終了後、日本万国博協会提供のスライド〝万国博に参加しょう〟を観賞、同協会天野業務部長より〝万国博全体推進について〟また、同協賛会担当の岡田氏より〝万国博の意義と協賛会について〟と題する話をきき、懇話に移ったが、万国博に対する認識を新たにし、有意義な催しとして幕を閉じた。

事業計画基本方針

昭和四十二年度のわが国経済は、政府の積極的な財政々策と経済界自らの努力により景気回復過程を経て、堅実な上昇を続けるものと予想される。

しかしながら貿易の自由化から資本取引の自由化へと続く開放体制の進展は日本産業の国際化をさらに促進し、他方労働力の逼迫、発展途上国の製品との競合による市場条件の変化、又それらの複雑ならみ合い等中小企業の前途に横たわるこうした構造変化の大きな流れに対応して行くことが本年度の最大の課題である。

この時に当り当商工会議所は、各業界の総合的な改善発達をはかるため産業界の実体把握に努め業界の要望を事業活動の各部門に反映せしめると共に、昭和四十二年度に於ける内外の推移に即応して次の重点事業を中核として事業活動を進め、商工会議所の使命達成に万全を期さんとするものである。

まず産業構造の変化に対処する中小企業対策として、当地産業の殊んどが中小企業で占められている関係上、その経営基盤の確立を急がなければならない。即ち企業の体質改善・近代化・合理化を促進し、その方向として協業化・集団化・チェーン化を積極的に推進して構造基盤の強化に努める。さらに中小企業経営上共通の問題である求人難対策として、当所が過去歴年その雇用対策の一助として建設した一連の福利厚生施設建設の完了と共に、これを基礎として求人対策を積極的に推進する方針である。

次に本年は国際観光年であり、加えて万国博覧会に対処して、国際観光都市として内外観光客の受入態勢の整備推進に努力する。従ってこれらに関連して道路計画・住宅団地開発・近鉄地下乗入れ等大きく変ぼうする一連の奈良市街整備計画の推移による商店街対策についても最大の関心をもつて積極的に働きかける方針である。

尚、本年は任期満了に伴う商工会議所議員の改選期に当っており、又商工会議所の使命益々重きを加えるに当り、その基盤強化が要請されているので、会員増加運動を幅広く展開すると共に、会議所活動の拠点である会館建設計画について取組み、組織・基礎両面の強化に努める。

以上の基本方針に基づき施策の概要を次の通り定める。

一、重点事業

一、会議所強化対策
　(1) 会員増加運動の推進
　(2) 会議所会館建設の促進
二、万国博関連事業の促進協力
三、地域産業経済の振興と地域開発の推進
　(1) (2) 既存企業の発展策
　地域開発の推進
　(3) (4) 万国博受入の為の環境整備推進
　近鉄地下乗入れの促進と対策
四、中小企業対策
　(1) 税務・金融対策
　(2) 合理化・近代化・協業化等構造高度化の推進
五、労務対策
　(1) 求人対策
　(2) 人的能力の開発
六、観光振興対策
　(1) 万国博観光客受入態勢の整備推進

要望書

（国鉄総裁、国鉄天王寺管理局奈良駅宛提出）

世界のあらゆる国の人々との相互理解を深め、生活文化の交流を深める万国博覧会が大阪で開かれることは、日本の真の姿を世界に理解させる好機として我々は国を挙げてその成功を願うものである。

また日本のふるさととして、良い環境の中で多くの文化財を守ってきた吾が奈良県も、日本万国博の第二の会場として果す役割は大きいものがある。

この日本万国博の開催準備については、日本万国博協会を中心に各般にわたり綿密な計画を樹てられ着々進捗を見つつあるが、なかでも入場者予想延べ三千万人という人員をスムースに送迎する輸送交通対策こそ万国博の外的成功要因の重要な問題であろう。

しかしながら大阪・奈良・名古屋を経て東海道本線・中央線に接続しているという重要幹線である国鉄関西線については、万国博対策としての輸送計画上何等の改善事業が含まれておらず、我々としては誠に遺憾とする次第であり、早急に日本万国博輸送対策の一環に繰入れられると共に、下記につき速やかに関連事業の一つとして計画樹立の上、実現されるよう奈良商工会議所第三十四回議員総会の決議として要望する次第である。

記

一、万国博開催時までに国鉄関西線の電化と列車増発の実施。

昭和42年度収支予算書

収入の部		支出の部	
1．会費	9,010,000	4．会議費	625,000
2．負担金	819,000	5．事業費	4,100,000
3．交付金	5,110,000	6．小規模事業費	3,175,000
4．事業収入	930,000	7．法定台帳作成管理運用費	830,000
5．寄附金	1,000	8．選挙費	200,000
6．雑収入	45,000	9．交際費	170,000
7．前年度繰越金	50,000	10．公課分担金	616,600
		11．福利厚生費	400,000
		12．退職資金積立金特別会計繰入	550,000
		13．雑費	100,000
		14．予備費	5,000
合計	15,965,000	合計	15,965,000
1．給与費	3,873,400		
2．旅費	400,000		
3．事務局費	920,000		

昭和四十二年度
輸出貢献企業の認定申請について

輸出貢献企業の認定を受けようとする方は、輸出品の輸出業者および輸出業者に対する輸出品の販売業者にあっては、主たる事務所の所在地を管轄する通商産業者または通商事務所に対し輸出貢献企業認定申請書に通に必要な書面を添えて輸出品の製造業者および加工業者にあっては、主たる事務所の所在地を管轄する都道府県知事を経由のうえ、当該事務所の所在地を管轄する通商産業局に対し、申請書三通に添付書面を添えて提出しなければならないことになっています。

◎申請書の提出期間

申請書は、昭和四十二年四月一日から同年四月三十日迄

◎添付書類

一、添付書面は、次に掲げるとおりとする。売上高、輸出金額および輸出伸長率または輸出経験年数を証する書面であって、別に定める輸出組合、商工組合、商工会議所等の団体が証明するもの。

◎輸出貢献企業認定証等の交付

通商産業大臣は、認定を行なった者に対し、輸出貢献企業認定証、バッジおよびステイッカーを交付する。

◎その他詳細に関しましては当所宛お問合せ下さい。

振興事業団設立を軸に

共同計算センターなど

中企庁の本年度予算案きまる

四十二年度の中小企業対策予算は総額二百四十二億二千八百万円ときまった。対前年度比伸び率は一八・二%で四十一年度の三六%には遠く及ばなかったが、大臣折衝の末、期待の中小企業振興事業団の設立が認められたのは大きな収穫。中小企業庁はこの事業団を軸に抜本的な中小企業対策に乗出そうとしている。このほか新政策の共同計算センター、小売商のセルフ化なども認められ、当初同庁が考えていた構想はほとんど実現した形である。中小企業庁首脳部はこの予算を「大体八十点の出来」といっており、資本自由化を控えてより強力な中小企業対策に第一歩を踏出す体制を整えている。

新政策に小売商セルフ化も

四十二年度の中小企業予算のなかで画期的なのはなんといっても中小企業振興事業団の設立が決ったことである。それだけに生みおとすまでの苦労も大変なもので、〝暁の大臣折衝〟という難産の末にやっと日の目をみた。同事業団は近代化のおくれている中小企業に強力なテコ入れをする目的で設立されるもので既存の中小企業指導センター（理事長・越智実氏）を発展的に解消、吸収して七月一日から発足する。同時に従来の中小企業高度化資金もここに吸収してより効率的な運用をはかっていく。規模は一般会計からの出資百二十一億円（要求百十二億円）財政投融資五十八億円（同二百七十億円）で一般会計の場合、ちょうど全予算の半分を占めている。融資規模は百七十八億円となっており、これによって助成対象の総事業量（業者の自己負担分も含む）は三百九十一億円に達する。このうち、百三億円は中小の繊維業者を対象とする織布業の構造改善費にあてる予定である。

事業団からの融資はいままでの高度化資金特別会計を一本化してその効率的な運用を目指しており、工場、商業両団地、共同工場、共同店舗、ボランタリーチェーンなどをおもな融資対象にきめている。このほか来年度から新発足する共同計算センターも対象にはいっており、いままでのように助成対象によって特別ワクを設けず、弾力的融資する方針である。

融資の条件は工場団地、商業団地の場合事業団四〇%、都道府県二五%（残りは自己負担）で、高度化資金の貸付けより国および地方の負担分が一五%引上げられている。しかし当初の考えでは国六〇%、都道府県が二〇%だったので、これにくらべるとかなりの後退である。また、繊布の協業化対策に貸付ける場合は事業団六〇%、都道府県一〇%の割合いで他の貸付けよりは大幅に優遇されている。金利は両方とも事業団貸付け分が年三分五厘、都道府県分は無利子となっており、自己負担分を市中銀行の融資にあおいでも最終利子負担は年四分五厘ていどとみている。貸付け期間など他の条件については予算編成が一段落してから徐々につめていく段取りである。

この事業団の発足によって中小企業の近代化、協業化は大きく第一歩を踏み出したが、反面、中小企業庁が一番期待していた二府県にまたがる場合の直接助成は要求が通らず、その意味では従来の高度化資金特別会計の単なる延長にすぎないとみる向きもある。このため、事業団の初年度業務は中小企業の近代化、協業化の指導と助成が中心となり、はじめに考えていた事業団からの直接助成、土地および建物の貸与事業などは来年度に持ちこされ、最初の構想よりは小型の事業団にとどまっている。

事業団以外に目を向けると、商工会議所および商工会を中心とする小規模企業対策費が前年度より四億五百万円増加して二十五億二千九百万円、機械類貸与補助が同二億円増の四億八千八百万円、中小企業指導事業費が同二億七千六百万円増の八億四千四百万円、小規模企業共済事業団が四千二百万円にふえて二億八千七百万円となったのが目を引く。これに対して設備近代化資金は前年度より十億減の四十二億五千万円しか認められなかったが、これも府県からの回収分二十五億円を加えると実質では若干の増加となる。

四十二年度の新政策である小売商のセルフ化の促進は中小企業庁の主張が通り設備近代化資金のワク内で助成することに落着いた、指導事業費は総額九億六千四百万円がみとめられ、このうち三億七千三百万円の予算で総合指導所を十七ヵ所新設する。総合指導所は四十一年度から三ヵ年計画で全国五十二ヵ所に設置することになっており、四十一年度の既設分十七ヵ所を加えると今年中に三十四ヵ所が活動を開始する運びである。

下請企業対策関係では東京都、静岡県など七ヵ所に設けた下請企業振興協会に続いて、来年度は五百七十万円の予算で北海道、長野、香川、広島、宮崎の五ヵ所が新設される予定。

このほか目ぼしいところでは信用保険公庫の融資基金として十五億円増の九十億円の出資が決った、これは中小企業信用保険臨時措置法の改正にともなって、無担保保証、倒産関連保証が恒久化されるため、この資金に充当しょうというもの。また保証限度の引上げ、保証料率の引下げも同時に実施する。

この予算の内容について中小企業庁の金井多喜男次長は「予算総額の対前年度伸び率が昨年を下回ったのは残念だが、強く要求していた事業団が認められたのは大きな収穫だ」とほぼ満足の意を表わしている。

◇ ◇ ◇ ◇

41年度中小企業の経営実態

中小企業庁では、毎年中小企業の経営活動の実態を調査しているが、このほど41年度の集計結果を次の如く発表した。

製造業

製造業における収益性は、前年度に引続き、41年度も低下を示しており、昨40年度の8.0%から7.6%となっている。

これはここ数年みられたと同様に、経営資本回転率に変化がないことから、売上高対営業利益率の低下に起因しているといえる。

生産性については、従業員1人当りの加工高でみると、40年度978千円から、41年度 1,063千円と9.0%の増加となっている。しかし、人件費は数年来増加しているにもかかわらず、41年度は鈍下し、前年度比7%の増加に止まった。

本調査に表われた41年度の製造業は、収益性は低下し、生産高が増加しているにもかかわらず、資本効率が横這いに止まり、他方売上高対総利益率の向上がみられたものの、 間接費の増大によって、 売上利益率が低下したことによってもたらされたものと考えられる。

事業別では、精密機械器具製造業、金属製品工業および、非鉄金属工業など、間接費の増大、生産性の鈍下から、収益性がかなり低下しているのが目立っている。

卸売業

卸売業においては、売上は増大しているにもかかわらず、 収益性は40年度の4%から41年度は3.9%と低下している。これは費用の増加を上廻って利益が増加したため、営業利益が増大、売上利益率は前年度比6%増加したが、在庫投資や売掛け金債権の増加による流動資本および固定資本の増大によるものである。

また費用関係で増加しているものは、販売競争の激化に伴ない、 販売費の比率は、40年度の4.6%から、4.8%に増え、人手不足を反映し、 人件費対福利厚生費比率も40年度の6.1%から、41年度には6 5%と増加を示している。

業種別に収益性の動向をみると、業種間に於てかなりの差がみられるが、文房具卸の横這い、食料品、菓子卸の増加を除いては、いずれの卸売業も、収益性が低下している。

小売業

小売業においては、売上の増加がみられたにもかかわらず、店舗改装などによる固定資産の増加、流動資産の増加などのため、資本効率は、前年度比7%を低下し、 この結果収益性は40年度の9.0%から、41年度は8.2%へと低下した。

ここ数年の売上、費用、利益の関係をみると、費用については人件費を中心として、年々売上の伸び以上の増大を示しているが、企業はこれをマージンの引上げによってカバーして、経営採算を維持しようとするため、ことに41年度の調査においても費用の53%を占めている人件費は、今後の労働事情等を考える場合、その増加が予想され、人件費負担が経営圧迫の大きな原因となることが十分考えられる。

業種別では、殆んどの業種が収益性の低下を示しているが、酒類、精肉、茶、玩具、楽器レコード、家具およびガラスの小売業は収益性が、本年度はかなり向上を示している。

政府国際観光年の基本方針を決定

政府は、さる二月一日の事務次官会議終了後ひき続き観光対策連絡会議（議長＝総理府総務長官、委員＝総理府総務副長官、各省事務次官）を開き、国連が宣言した一九六七年の国際観光年に対する政府の基本的態度ともいうべき「国際観光年に関する基本方針」を決定、関係各省がそれぞれの所掌分野において効果的な諸施策を重点的に行なうことをとりきめた。

なお、運輸省の国際観光年行事企画委員会で策定中の諸行事は、まだ最終的には固まっていない模様であるが、いずれにせよ、国際観光年の行事の中心は、八月予定の観光週間と、十月六日からの官設観光機関国際同盟総会であって、これらの行事を通して「国際観光年」の趣旨が広く理解され、観光のもつ意義が正しく理解されることが期待されている。

政府の観光対策連絡会議で決定した「基本方針」のあらましは次の通り。

▽国際観光年に関する基本方針

国際連合は、昭和四十一年十一月四日の第二十一回総会において一九六七年を「国際観光年」と指定する旨の決議を行なうと共に、世界各国に対し、観光が教育、文化、経済、社会等の諸分野に果たしている役割を各方面に認識させかつ、観光振興に関する諸施策の推進に努めるよう要請した。

近年、観光が国際親善の増進と国民生活の向上に果たす役割はますます増大しており、また、本年十月には東京において官設観光機関国際同盟（ＩＵＯＴＯ）の第二十回総会の開催が決定されていること等を考慮し、わが国においても上記国際連合の要請に呼応し、積極的な実施体制の整備を図る必要がある。

関係各省庁は、このような趣旨にそい、下記の諸施策にとくに重点をおいて、その効果的な推進を図るとともに、運輸省で策定される国際観光年記念行事計画についても積極的に協力し、その円滑な実施を図るものとする。

一、入出国手続の簡素化、合理化
（法務省、外務省、大蔵省、厚生省、農林省）

二、国際観光地及び国際観光ルート整備五カ年計画の推進（関係各官庁）

三、観光資源の保護

①文化財、古都における歴史的風土、自然景観等の観光資源の管理の強化＝ナショナル・トラスト制度の検討を含む（総理府文化財保護委員会、厚生省、林野庁、運輸省、建設省、自治省、消防庁）

②観光資源保護のための啓蒙活動推進（総理府、文部省、文化財保護委員会、厚生省、林野庁、運輸省、建設省その他関係各省庁）

四、観光旅行の安全の確保

①宿泊施設における火災予防及び避難体制の整備（文部省、厚生省運輸省、建設省、消防庁）

②伝染病及び食中毒の予防（厚生省、運輸省）

③交通事故の防止（総理府、警察庁、運輸省、建設省、文部省その他関係各省庁）

④登山、海水浴等の遭難の防止（警察庁、文部省、厚生省林野庁、運輸省、自治省）

五、観光施設円滑化

①運輸・観光事業者及び従業員のサービスの向上に関する監督及び指導の強化（厚生省、運輸省）

②宿泊、交通等に関する料金のオフシーズン割引の促進（厚生省、運輸省）

③違法行為の防止

イ、タクシーの乗車拒否等違法行為の取締の強化（警察庁、法務省運輸省）

ロ、観光土産品の表示の適正化（公正取引委員会、警察庁、通商産業省、運輸省）

ハ、観光地における風俗関係等違法行為の取締の強化（警察庁、法務省、林野庁）

六、国土の美化

①観光地、生活環境等の美化清掃（総理府、文部省、厚生省、林野庁、運輸省建設省、自治省）

②屋外広告物の整備（運輸省、建設省、自治省）

七、観光に関する普及啓蒙

①観光の意義、観光旅行の際のマナー、危険防止等についての周知徹底（関係各省庁）

②文化財の理解鑑賞の促進（文化財保護委員会、林野庁）

③青少年の国際交流導等による国際親善の増進（総理府、外務省、文部省、運輸省）

④海外諸国の日本に対する正しい認識の徹底（外務省、通商産業省、運輸省）

八、国際観光年に関する広報
（総理府、運輸省その他）

◎万博ニュース

開会までのスケジュール

万博協会で発表したこれからの事業計画スケジュールは次の通りです。

昭和四十一年度中に会場基礎施設の基本計画を終わり四十二年度に敷地造成工事四十三年半ばまでに道路、緑地、上下水道、電力、ガスなどの基本設計と実施設計を終わります。

お祭り広場、装置道路などの基幹施設については、四十二年に基本設計、四十三年半ばまでに実施設計を完了、四十三年秋には国内外の出展参加が確定し、展示館や営業施設の建設が始まる予定、四十四年には会場内道路の舗装、建築場の最終仕上げ、造園修景工事を完成し四十五年三月十五日に開会の日を迎えるという段取りになっています。

具体的な出展準備段階へ

出展に対する国内の動きとしては、政府の大規模な参加構想をはじめ、地方公共団体、各種企業、団体などで万博対策委員を設け、その意志を決定すべく研究と検討が重ねられて来た。なかでも電気事業連合会、日本ガス協会が業界の力を結集して業種団体として展示館建設の態度を固め、大規模な参加が期待される住友・三井・三菱などの企業集団、銀行を中心とする系列企業グループ、電気機器自動車業界が活発な動きをみせています。

事務局に出展部を新設

協会事務局では出展勧奨活動を行うため、従来営業部に所属していた国内出展課と外国出展課を独立させて、出展部を新設した。

一、展示方式

参加者が独立の展示館を建設して展示する特設館展示が原則です。

二、出展参加申込手続

(1) 申込み受付期間および時間
昭和四十二年四月一日～昭和四十二年九月三十日
午前十時～午後五時（土曜日正午）

(2) 申込受付場所
(イ)（財）日本万国博覧会協会
出展部国内出展課
（大阪市東区本町四丁目二十七―一御堂ビル）
（電話大阪（06）二五二―〇〇三～九）
(ロ)（財）日本万国博覧会協会
東京事務所出展課
（東京中央区銀座西五―二新マツダビル）
（電話東京（03）五七三―三八五六～八）

(3) 申込み方法
協会作成の出展参加申込書一通、副二通を持参の上提出する。郵便申込はいけない。出展申込み内容は申込者の承諾のない限り外部に発表しない

三、展示館敷地

(1) 区画　国内の公共団体館、企業および民間団体館の敷地としては、八〇〇㎡（一単位）を最低面積として、一、六〇〇㎡、三、二〇〇㎡、五、四〇〇㎡、九、六〇〇㎡の六種類計五〇区画を予定。

(2) 敷地割当
会場の調和を考え、申込者の展示内容、建築物の構造形状、申込み順位など考慮して協会で決定する。必ずしも受付期間の終了を待たない。

(3) 敷地料　一㎡当り五、〇〇〇円とする。
納付時期　参加契約締結のとき半額
展示館建設工事着手承認のもの半額

四、出品物

日本万国博覧会一般規則に基づき一般分類表に記載されたものであればすべて出品できる。

昭和四十二年の経済見通し

経済評論家　山田亮三



上昇・拡大の基調辿ろう

昭和四十二年。新らしい年がまたスタートする。不況のドン底にあけた昨年の正月とちがって、今年の年明けの日本経済の表情は、かなりに明るいのが実際のようだ。何といっても昨一年の景気の回復が、意外に大巾かつ急テンポなものとなっている。自動車、家庭電器、合成繊維などの成長産業が、再び強い成長性をとり戻したうえに、鉄鋼、アルミ、セメント、プラスチックなどの素材産業も、生産水準を著しく高めている。加えて工作機械をはじめとする受注産業が、ようやく活況をとりもどすなど、景気の回復は、ほぼ全面的にひろがってきている。げんに昨年暮のボーナスも史上最高とかいうことで、歳末の街の景気も悪かったとはいえない。

景気回復第二年目の昭和四十二年の経済見通しが、昨年にくらべてはるかに明るいのは当然というほかないが、といって手放しに楽観ばかりはできぬ問題もある。

昨一年の景気回復が大巾といっても、要は政府の財政政策やベトナム戦争の影響が大きい。政策的、一時的要因による景気の回復は、逆に前途の不安感をそれだけ強めるものでもある。すでに国際収支の先行きについての懸念がささやかれはじめており、証券市場の低迷など、こうした事情を反映するものだといえる。また天然繊維や砂糖のように、構造的不況要因をもつところでは、景気回復の波に乗りおくれており、ことに中小企業方面では、賃金の上昇や原材料費の高騰で収益面での改善が一向にみられぬところも多く、企業倒産は引続き高い水準を記録しているのが実際である。

しかしそうした問題はあっても、結果からみた昭和四十二年の日本経済が、上昇・拡大の基調を辿ることに間違いはあるまい。少くとも国内市場についてみるかぎり、次の三つの柱が上昇要因として作用しょう。

第二次消費革命開幕の段階へ

第一は民間消費の堅調である。昨年から今年にかけて、国民消費は新らしい局面を迎えはじめている。家庭電器を中心とする三十年代の消費革命にかわって、乗用車やカラーテレビを主役とする第二次消費革命が、ようやく開幕の段階へと入ってきた。すでに日本の自動車産業は、昨年度イギリスを抜いて世界第三位の地位を確保するに至っているが、そのうち乗用車生産はパンタイプのものを含めれば過半を制しており、日本のモータリゼーションがようやく西欧型のオーナー・ドライバー中心のそれへと移行しつつある事実を示している。自動車のような巨大産業が強い成長力をもつことが、全体としての景気に与える影響は軽視できない。

第二には、産業界の設備投資がようやく盛りあがりの気運を強めてきている。昨一年の工業生産の上昇は、あれほど深刻といわれた産業界の設備過剰をあらかた解消し去っている。むしろ能力の不足さえ訴えるところが少くないのが実際で鉄鋼業界をはじめとして、再び設備投資増大の方向にあるところも多く指摘することができる。加えて労働力不足と賃金水準の上昇は、企業の合理化・近代化を必至の要請としている。もちろんかっての高度成長期のように、年間設備投資が三割も四割もふえることはありえないが、それにしても設備投資の増大が今年の景気を支える一つの柱となることは否定できない。

第三には、財政支出の増大がある。なるほど〝景気刺戟予算〟と銘うった昨年度とちがって昭和四十二年度予算は、それほど強い積極性をもつことはあるまい。景気がここまで回復した現状では、あえて財政面から景気を刺戟すべき必然性はない。しかし、全体としての財政支出が前年度をかなり上回ることだけは確実であり、経済の成長が、それだけ促進されることも間違いはなかろう。

問題は構造変動の流れ

以上三つの柱を中心に、新らしい年の経済は、ほぼ〝堅実な上昇〟を続けるものと予想されるが、残る問題は日本経済をとりまく国際環境であり、それからする国際収支不安であろう。とくに世間では、ベトナム戦争のなりゆきに神経をとがらせているが、しかし卒直な結論をいえば、ベトナムの早期和平でも実現せぬかぎり、この面からする大きな動揺はあるまい。日本の国際収支にしても、それが問題として表面化することはあっても、いきなり金融引締め政策が登場し、景気が低滞ないし下降へと転ずるとまで考える必要はない。国際環境や国際収支の先行きについて、過度の警戒心を抱くのはやや行きすぎであろう。

むしろこの際注意しておきたいのは、日本経済はいま、短期の景気変動とならんで、より長期の構造変動の波にさらされていることである。

ひとつには企業をとりまく競争条件が、ますますきびしくなってきている。貿易自由化から資本自由化へと続く開放体制の進展は、日本産業の国際化をさらに促進している。海外市場での競争はもとより、国内市場での競争もはげしさは増しても緩和する見通しはない。それだけにこうしたきびしい競争条件に耐えうる企業とそうでない企業との格差が、今後一段とひらいてゆく可能性がある。昨一年の景気回復にかかわらず、中小企業の倒産があとを絶っていないのも、要はこの意味での産業再編成の流れが、さえぎることのできぬものとなりつつあることを示している。

加えて先にもふれた労働力問題が、より決定的な意味をもつようになってくる。昭和三十年代を通ずる経済の高度成長は、若年労働力の著しい需給逼迫をまねいているが、昭和四十年代に入った今後は、出生率の低下に伴う新規学卒労働力供給の絶対的低下の段階に入る。豊富な労働力と安い賃金を前提に成立した日本経済のメカニズムは、この前提条件の変化とともに、大きくゆすぶられてゆかざるをえないのが実際である。とりわけ日本の中小企業にとって、こうした構造変動の大きな流れにどう対応してゆくか、これからの最大の課題であるといわねばなるまい。

筆者略歴

大正九年大阪生れ。昭和十七年東京商大卒、華北交通に入社。同二十一年国民経済研究協会に入り、同協会理事、産業経営研究所専務理事などを経て、現在日本産業材料研究所専務理事、NHK解説委員、白百合女子大学教授、大蔵省自動車損害賠償責任保険審議会委員、運輸省海運造船合理化審議会委員。
主な著書「日本産業のライバルたち」、「日本産業入門」、「日本企業レポート」「あの会社この会社」など。

ガイドポスト・ポリシー

ガイドポスト・ポリシーとは、賃金の決定につき、政府が一定の目標を示し、民間企業や労組に対し、これによるように協力を求める政策のことである。

自由主義経済の下では、本来賃金は使用者と労働者との間の自由な契約により、また価格は売主と買主との間の自由な契約により決められるべきものである。しかし、労働力の不足などの事情によって、賃金が異常高となり、これによって物価も高騰し、そのため生活の安定、経済の発展が阻害されている場合がある。この政策は、こういう場合に賃金の上昇と物価の上昇の悪循環を絶ち切るためにとられる政策の一つである。

この政策は、米国のケネディ前大統領が使い始めたもので、賃金の引き上げは国民経済全体の生産性の上昇率の範囲内に止めるべきであるとしており、四十年の目標は過去五年間の平均生産性上昇率の三・二%とし現在もこの目標を目安にしている。英国で実施中の賃金物価抑制政策もこの政策の例である。

わが国においても最近一部にこの政策の採用が考えられているようであるが、米国、英国においてもこの政策の実行は難航を極めており、産業、企業によりまだ賃金格差が大きいなど経済事情が違うわが国では、米国、英国などより、その実行がさらにむずかしいのではないかと思われる。

なお、ガイドポストとは「道しるべ、道標」のことである。

中小企業庁だより

中小企業の倒産防止について

四十一年に入って、四十年水準をわずかながら下回って推移していた企業倒産は十一月には戦後最高の六百三十件（東京商工興信所調べ）を数え、一～十一月累計では不況であった前年同期を上回ることとなり、年末から年始にかけての企業倒産の動向が注目されております。生産・受注等の面で一般的な景気上昇基調がみられるにもかかわらず、企業倒産が不況時よりも高水準にあることについてはその原因の究明を図るとともに対策を考えなければならないと思われます。

しかし、当庁においては、最近の企業倒産件数の増加要因を明らかにするためには、今後なお数カ月の推移を見守り、慎重な検討をまって結論を出すべきであると考えています。ところで現在においてその原因として指摘されている諸々の点を要約してみますと、

(1) 最近の調査によれば、中小企業全般の収益性にはかなりの回復がみられます。

(2) しかしながら、このような一般的な中小企業の収益性の回復がみられる中においても、長期の景気停滞の間にあって、中小企業経営における企業間格差は、個別企業の経営態度の良否もあって拡大してきており、人件費の上昇等も加わって経営状態の悪い企業も一面で増加しているものと推定されます。

(3) このような企業間格差がみられるために、取引面や融資面において親企業や金融機関は選別的態度をゆるめておりません。

(4) このような状況下において、不況期以来経営が悪化し、資金繰り等にも苦慮してきた企業が最近において息切れし、倒産するものが増加してきたものと考えられます。

なお、倒産企業のうちには、融手操作、経理ずさん、過大投資等企業経営内部に問題のあるものが目立ってきている点も指摘されています。

このような企業倒産の原因からみて、第一に中小企業者自体の厳しい経営態度が要請されているわけですが、いずれにしても当庁としては最近の倒産理由にみられる選別強化、連鎖倒産等による中小企業者の不測の倒産を防止するため十二月五日付でとりあえず地方通産局、都道府県、政府関係中小企業金融三機関、中小企業金融保険公庫、全国銀行協会に対して「中小企業の倒産防止について」協力を依頼いたしました。

なお、当庁において従来から実施している中小企業対策に加えて、特に今後の倒産防止のために実施または検討中の施策は以下のものです。

(1) 政府関係中小企業金融三機関の本年度下期の貸出規模を九百三十五億円増加することとし、このため三機関に対し総額五百二十五億円の財政融資を行うこととした。（四十一年十一月八日閣議報告）

(2) 民間金融機関に対し、中小企業向け年末（十月～十二月）貸出目標額を九千五百億円とするよう要請した。（同閣議報告）

(3) 政府関係中小企業三機関の金利を明年一月一日から年〇・二%引下げることとし、このため補正予算で商工中金に対し、十七億円の出資を行うこととした。（四十一年十一月二十九日補正予算閣議決定）

(4) 通産大臣と公正取引委員会委員長の連名で親事業者団体等に対し、下請代金の支払促進等につき通達を行なった。（四十一年十二月二月付け四一企庁一七二四号）

(5) 連鎖倒産防止のため中小企業信用保険臨時措置法による倒産関連保険の弾力的運用を図っている。（十一月博多船渠㈱を指定）

また、倒産関連保険や無担保保険の特例を恒久法化するため中小企業信用保険法の改正を準備中である。

(6) 会社更生法の適用に関し連鎖倒産を防止するため下請等関連中小企業者の債権について優先弁済の途を開くため、会社更生法に所要の改正を準備中である。

第三回優良土産品審査会開かる

主催　奈良優良観光土産品連絡協議会

奈良優良観光土産品連絡協議会（奈良市観光協会、奈良食品衛生協会、当会議所）は去る三月八日第三回目の土産品審査を奈良商工会議所三階大ホールにて開催し、優良推奨品及び合格品の認定を更新した。

出品点数は総数一九五点で県、市及び各界の有識者による厳重な審査の結果、優良推奨四四点、合格一三七点を選定した。審査委員の意見を総合すると、例年よりかなり土産品の品質は向上し、メガネ、アンコ、ガクブチ、十二単衣等の過大包装がなくなり、製造年月日、製造所名の表示についてもおおむね守られていたが、郷土色を出す工夫において若干もの足りないものがあるということであった。また今年は国際観光年とされておりその上万国博を数年後に控えているので奈良を訪れる観光客の印象を土産物によって尚一層よくする努力が強く望まれるとしていた。

尚当所事務局に於てシール配布を行っておりますので認定を受けられた方はお買求めの上該当土産品に貼付下さい。

審査結果概要は次の通り。

	優良推奨	合格	保留
食品	33点	92点	8点
工芸品	11点	45点	6点
計	44点	137点	14点

◇優良推奨品と認められるもの

（店名）	（品名）	（小売価格）
梅花堂	梅花堂羊羹	二〇〇円
〃	〃	二〇〇円
岡崎松光堂	大仏せんべい	三五〇円
〃	〃	五〇〇円
白銀堂	東大寺瓦せんべい	三〇〇円
〃	東大寺せんべい	二〇〇円
万勝堂	野守	三〇〇円
〃	青丹よし	二一〇円
千代乃舎	飛火野	六〇〇円
〃	青丹よし	二二〇円
白玉屋栄寿	名物みむろ	四三〇円
三和製菓	大仏殿古代瓦	三二〇円
〃	古代瓦	三〇〇円
森老舗	奈良漬	二〇〇円



第三回優良土産品審査

森老舗	奈良漬		四〇〇円
〃	〃		七〇〇円
今西本店	〃		三〇〇円
〃	〃		四〇〇円
〃	〃		五〇〇円
〃	〃		七〇〇円
〃	〃		一、〇〇〇円
〃	〃		六〇〇円
〃	〃		八〇〇円
〃	〃		一、〇〇〇円
〃	〃		一、五〇〇円
あしびや本舗	〃		一、〇〇〇円
〃	〃		三〇〇〇円
虎谷美術工芸社	中宮寺額		一、〇〇〇円
〃	寧楽人形		五〇〇〇円
〃	東大寺八角灯籠	奏楽天人	二、〇〇〇円
〃	東大寺奏楽天人		二、五〇〇円
大谷商店	一刀彫雛		一、九〇〇円
〃	鹿		九五〇円
〃	鹿三匹		三五〇円
白井鹿庵	木鹿		五五〇円
石津玉仙	はにわ子守		一三、〇〇円
〃	はにわ農夫		二、五〇〇円
〃	東大寺月光菩薩		三、六五〇円

失業保険、労災保険が四十三年より強制加入となります。

『ぜひ失業保険、労災保険事務組合のご利用を』

失業保険、労災保険が昭和四十三年より一人でも従業員を雇っていると強制加入になります。五―六人以下の従業員を雇っている事業所では仕事の繁栄のためなかなか思うように失業保険、労災保険にまで手が出せないのが現状だと思います。当所の失業保険、労災保険事務組合に委託されますと失業保険、労災保険に関する手続きは、一切事務組合が代行致しますので、事業主は面倒な事務をする必要がありません。委託できる事業主は常時三〇〇人（卸売業、小売業、サービス業、金融業、保険業、不動産業を主たる事業とする事業主は五十人）以下の労働者を雇っておられる事業主です。

詳細は当所業務課で説明します。

中小企業相談所

無欠点運動（ＺＤ運動）

仕組みはどういうものか

【問】 最近、無欠点運動というのをよく聞きますが、これはどういう運動ですか。また、この運動の仕組みはどういうものですか教えてください。

【答】 無欠点運動というのは、米国のマクナマラ米国防長官が「一人の者の僅かなミスが、全軍の運命にかかわる」といって、米軍で、軍関係者一人一人のミスをゼロにしようという運動をはじめ、これが効果があったことから、米国のゼネラル・エレクトリック社とかウエスチング・ハウス社とかフォードといった大企業が、この運動を採用したものです。

こうして、この運動はＺＤ（Zero defects）運動とかＮＥ（No error）運動とか呼ばれ、品質管理のテクニックを、製品管理の面だけでなく、書類作成、図表作成、伝票作成などのすべての仕事に行なうもので、これによって、

(1) 従業員の仕事に対する認識を高めること。

(2) 誤りの原因を除去し、仕事の能率面を向上させること。

(3) 作業の円滑な運営をはかり、ムダな損失を防ぐこと。

などの効果をねらっているのです。

どういう方法でこれを進めるかというと、まず、全従業員にこの運動がどういうものかということを理解させることが第一で、次に、従業員を仕事別にいくつかのグループ（ＺＤグループ）にわけ、各ＺＤグループごとに改善すべき目標をたて、グループごとにその目標を達成させるという方法をとるのです。

ただ、これをたんに各グループごとに放任するのでは効果も少ないので、各グループに管理表をつくって、毎日の仕事の結果をそれに記録して、それを各グループの長となっている人が点検してそれの管理をしている委員会に報告して、その状況を職場ごとに把握し、さらに、各職場の委員会から、各職場の状況が中央の委員会に報告され、会社全体の運動状況がここでまとめられ、それが次に計画をたてるうえに反映されるようになっているのです。

わが国でこの運動を最初にとりあげたのは日本電機ですが、その後、各社にひろがっています。なお、この方式は、本質的には総合品質管理（Total quality control…ＴＱＣ）とは差はないものでその進め方も同じですが、ＴＱＣのほうは、製品の品質が中心になるのに対してＺＤ運動のほうは、全作業に誤りをなくすということです。

おしらせ

経営者のための国の共済制度

◎小規模企業共済制度についてのお知らせ

従業員には失業保険・厚生年金保険、中小企業退職金共済制度があって職後の生活が保障されていますが、同じように経営者にも生活の安定をはかり事業の再建や転換を図るための資金が必要です。

この制度は昭和四十年から国が始めた制度ですが未だ殊んどの経営者に知られていないのが現状です。当所では今般当該事業団との間に事務委託契約を結びこの制度の効果的活用に協力することになりました。

以下この制度の概要と特徴についてお知らせ致します。

◎加入者の資格と掛金額

この制度に加入できる方は常時使用する従業員の数が二十人（商業・サービス業では五人）以下の企業の事業主、会社または企業組合の役員の方です。掛金の額は一口月額五〇〇円、一人で十口まで何口でも自由に加入できます。十口までは途中から増額することもできます。

◎利廻りが最高

共済金は加入者である事業主または会社の役員が引退したとき、死亡、廃業したとき、掛金を二十年以上納めて且つ年令が満六十五才以上となったときなどの場合に支払われます。

支払額は年六分六厘程度の複利ベースで算出されこの種の共済制度では最高利廻りとなっている。

◎融資の特典

一年以上継続して掛金を完納している加入者には、一口（五〇〇円）で十万円の融資が受けられることになっています。

◎税法上の特典

この制度による掛金は、税法上の生命保険と同じ枠内で、所得控除を受けることが出来ます。（近く別枠の所得控除が設けられる予定）

◎支払いが確実

この制度は国が運営しており共済金額は法律によって定められています。又共済金の支払いを受ける権利は抵当権や債権者などの差押えが禁じられて居り直接本人に確実に支払われる。

◎その他価幣価値変動に対する措置として五年ごとに検討することになっています。

加入の方法とか詳細な手続きについては近く説明会を開きますので、御越し下さい。又不明な点がありましたらお問い合わせ下さい。

大和高田商工会議所役員改選

大和高田商工会議所では三月二日役員改選を行ない左記の通り就任された。

会頭	村嶋忠一氏	（再任）
副会頭	池内弥三郎氏	（再任）
〃	吉川利治氏	（新任）
専務理事	永井三四治氏	（再任）

全国みやげ品展開催

新趣向もよろしく……東京日本橋三越で

日本商工会議所、全国観光土産品連盟主催の第九回全国お国自慢お土産品展が二月二十八日から三月六日まで東京日本橋三越本店で華々しく開催された。当奈良から一刀彫、古面、奈良漬、東大寺せんべい等千四百拾四点を出品した。

日本国有鉄道総裁賞をうけた「一刀彫神鹿」（大谷美好氏製作）及び全観連会長賞を受けた「奈良の鹿」（松山鹿鳴園製作）等当地出品の各種土産品は特に人気を集め、例年を上回る売れ行きを示した。

観光土産品の表示は適正に！

全国の土産品に公正競走規約適用

旅行から買って帰り、あけてびっくりするような粗悪な品質表示の土産品に腹立たしさをおぼえることがよくあるが、このような製造販売業者は不当表示防止法により処罰されることになっているにもかかわらず良くない土産品があとを絶たない。

買う際、買求めた店の名前もたしかめず〝みかけがよく安いもの〟を買っては後悔する結果となる。

観光地の場合、その土地で作られたものでないのにその土地の名物と表示されている土産品が驚くほど多い。この様な商品は製造元がつかめず苦情が出ても調査や処理のしようがない。

そこで作られたのが不当表示防止法にもとづく「観光土産品の表示に関する公正競争規約」で、土産品売買に関し、好むと好まざるにかかわらず業界のルールとなり、不当な表示で購買者を誘引するような行為、製造を締出すための規約ともなる。

この規約の実施機関は全国観光土産品公正取引協議会と、下部組織である全国各地の地方協議会があたる。

本県協議会は、、奈良県観光土産品連盟が中心となって、去る四十一年九月十九日、発起設定総会を開きスタートした。

この協議会の会員となるには自己の取扱う土産品の審査を受けこれに合格すると正式に会員資格を得ることが出来るがこの為の第一回目の審査会を二月十六日実施した。

公正取引競争規約を抜すいすると次のようなものになる。

（定義）

「観光土産品」とは食品類であって商品名、絵、文字等で土産品である旨の表示をしたもの、または主として観光地においては観光客の土産用として販売されるもの。

〔過大な包装の禁止〕

一、土産品の包装に関し、アゲゾコ、ガクブチ、メガネ、アンコ、十二単衣などの方法により、その内容を誤認させ、不当に顧客を誘引するものの製造販売の禁止。

二、原則としてその内容量は容器又は包装の3分の2以上であることを目安として過大包装の是非を認める。

三、商品の価格が高価なものであって、それに応じて包装も高価となり、あるいは容積が大きくなるものにあっては容器、包装が比較的大きくなることを認める。

〔不当表示の禁止〕

一、賞でないものを賞であるかのように誤認されるおそれがある表示。

二、官公庁、神社その他著名な団体等が購入または推奨しているかのように誤認される表示。

三、自己の取扱う他の商品について受けた賞、推奨等を当該商品も受けたかのように誤認される表示。

四、自治団体、協会、組合等において、当該商品が特に優秀である旨の証明をしないのに「特選」「極上」「優良」「高級」等の表示

〔表示事項〕

一、商品名

二、製造、販売業者の氏名または名称および所在地

三、正味重量又は個数

四、製造年月日または保存期限

五、内容物の名称

六、主原材料名

七、賞を受けた時期、授賞者又は推奨者等の氏名または名称、受賞した展覧会の名称

八、特許、登録等を受けた場合はその番号

九、分析の結果、合格したことを表示する場合は、その行った時期および機関等の名称。

新入紹介

—どうぞよろしく—

奈良市餅飯殿町　春日電機商会　代表者　乾　正男

奈良市上三条町　今西本店　代表者　今西久也

奈良市鵲町　末広堂　代表者　今西初枝

奈良市二条町　笠尾商店　代表者　笠尾知子

奈良市中山町　信田呉服店　代表者　信田勝久

奈良市西大寺町　㈱辻食料品店　代表者　辻正雄

奈良市椿井町　㈲田村有秋軒　代表者　田村誠作

奈良市尼辻町　金田芳商店　代表者　金田芳太郎

奈良市今市町　学園前ショッピングセンターママ・ストアー　㈱セブン　代表者　黒岩東七

奈良市角振町　光映カメラ店　代表者　中田茂幸

奈良市東城戸町　三和中嶌商店　代表者　中嶌清一

奈良市小西町　中山民芸品店　代表者　中山豊子

奈良市小西町　ホシヤ服装店　代表者　宮崎行雄

岡矢商店

武蔵産業㈱

㈱阪奈青果卸売市場

山田繊維㈱

三啓物産奈良営業所

田原教材社

山崎屋

㈱大東・藤谷建築設計事務所

協栄生命保険㈱奈良支社

たつみ書店

山口機械㈱

中辻鉄工所

喜多測量事務所

㈲川浪工業所

田町時計店

㈱江島商店

奈良市草小路町　エビスヤ洋品店　代表者　中筋安治

奈良市花芝町　ザクロ㈲　代表者　渡辺武一郎

奈良市菅原町柳原　やっこ寿し　代表者　岡田米司

奈良市東九条町　市川薬品商会　代表者　山田義孝

奈良市尼辻町　洋服の玉屋　代表者　中西啓祐

奈良市中町　あおき履物店　代表者　田原勇

奈良市あやめ池町　奈良鍛金工作所　代表者　山崎伸治郎

奈良市高畑町　たじ元酒店　代表者　大東延昭

奈良市高天市東町　近鉄センター　代表者　山本善一

奈良市西大寺町　松井タイヤ商会　代表者　辰己寿一

奈良市今市町　阪奈家具センター　代表者　山口慶美

奈良市中町　大仏家旅館　代表者　中辻駒吉

奈良市三碓町　和田工務店　代表者　喜多将雄

奈良市二名町三松　中村文昌堂　代表者　渡辺一

奈良市西大寺町　山本商会　代表者　田町秋男

奈良市南京終町　木村商店　代表者　江島二郎

奈良市上三条町　杉本嘉男

奈良市秋篠町　㈱柘榴幸次

奈良市あやめ池町　三村小里

奈良市本子守町　市川嘉男

奈良市下三条町　野村政義

奈良市下三条町　青木じゆ

奈良市杉ヶ町　川島佐太郎

奈良市内侍原町　小林純一

奈良市東向北町　坂原秀夫

奈良市西木辻八軒町　松井克祐

奈良市宝来町　村野忠春

奈良市花芝町　舟戸武史

奈良市大森町　和田隆夫

奈良市法蓮一条町　中村嘉三郎

奈良市川上町　山本孝治

奈良市鵲町　木村シン

奈良市小売物価動向表

品目 ＼ 月別 ＼ 地域別		41年 4月	〃 5月	〃 6月	〃 7月	〃 8月	〃 9月	〃 10月	〃 11月	〃 12月	42年 1月	〃 2月	〃 3月
総平均	奈良	123.6	122.8	121.9	124.3	121.8	120.6	123.3	123.3	124.0	125.0	125.9	124.3
	大阪	119.5	119.2	118.6	119.9	118.9	119.5	120.7	120.1	120.2	120.9	121.7	
	東京	123.5	122.4	123.6	124.4	121.6	123.6	124.5	125.8	126.5	126.7		
食料品	奈良	134.7	132.6	131.6	136.9	132.1	131.5	132.2	132.6	133.5	137.0	139.8	137.1
	大阪	136.4	134.6	133.2	136.1	134.6	135.5	136.2	134.8	135.0	135.4	137.7	
	東京	137.1	133.8	136.5	138.6	132.6	135.7	137.1	140.0	141.0	142.2		
穀類	奈良	142.2	142.2	143.6	143.6	143.6	142.2	143.8	143.8	143.8	143.8	143.8	144.2
	大阪	147.3	147.3	147.3	147.3	149.4	149.4	149.4	149.4	149.4	149.4	149.4	
	東京	142.1	142.1	142.1	142.1	142.1	142.1	142.1	142.1	142.1	142.1		
粉、粉製品	奈良	123.6	123.6	123.6	123.6	123.6	123.6	123.6	123.6	123.6	123.6	123.6	123.6
	大阪	145.9	145.9	145.9	145.9	145.9	145.9	145.9	145.9	145.9	145.9	145.9	
	東京	116.9	116.9	116.9	116.9	116.9	116.9	116.9	116.9	116.9	116.9		
野菜	奈良	243.3	247.0	164.5	158.3	150.2	162.4	187.8	180.4	191.6	263.5	287.9	241.4
	大阪	221.1	196.9	184.1	172.2	148.0	168.9	192.9	178.8	197.4	220.2	259.4	
	東京	275.7	217.8	241.0	227.6	172.4	229.1	257.0	294.7	321.7	341.0		
果物	奈良	128.1	129.4	174.0	303.2	132.5	146.5	145.4	105.7	90.8	110.4	118.0	118.1
	大阪	148.6	135.9	111.8	249.5	179.3	236.4	202.4	153.5	144.2	115.5	123.7	
	東京	156.3	150.2	187.5	284.8	196.8	159.4	192.4	199.4	169.7	152.1		
鮮魚	奈良	143.1	138.4	159.9	187.5	207.9	180.6	160.1	203.0	209.1	197.2	229.0	181.8
	大阪	194.4	182.8	173.2	180.7	196.8	162.1	176.9	185.6	178.4	182.0	196.9	
	東京	273.5	273.9	284.9	304.5	280.3	290.0	259.0	275.2	274.8	281.9		
乾物	奈良	172.5	172.5	172.5	172.5	172.5	172.5	172.5	172.5	180.5	180.5	180.5	180.5
	大阪	139.9	139.9	139.9	139.9	139.9	139.9	139.9	139.9	139.9	139.9	139.9	
	東京	151.8	151.8	153.6	160.6	162.7	162.7	160.8	155.8	151.4	152.7		
畜産食品	奈良	141.2	138.9	139.4	138.9	145.5	145.2	150.2	149.2	152.4	151.9	152.8	153.1
	大阪	130.5	129.5	130.0	127.9	127.2	127.7	128.5	127.3	128.0	127.5	127.7	
	東京	131.6	130.7	131.5	131.0	130.7	131.6	132.6	133.1	133.9	134.0		
調味料	奈良	116.7	116.7	116.7	116.7	116.7	116.7	116.7	116.7	116.7	116.7	116.7	116.7
	大阪	117.4	117.4	117.4	117.4	117.4	117.4	117.4	117.4	117.4	117.4	117.4	
	東京	119.7	119.7	119.7	119.7	119.7	119.7	119.1	119.1	119.1	119.5		
加工食品	奈良	133.0	133.0	133.0	133.0	133.0	133.0	133.0	133.0	133.0	133.0	133.0	133.0
	大阪	154.9	154.9	154.9	154.9	155.7	155.6	155.5	155.4	155.5	155.5	155.5	
	東京	151.1	148.6	148.6	148.6	148.6	149.9	151.1	151.1	151.1	151.1		
菓子	奈良	110.9	110.9	110.9	110.9	110.9	110.9	110.9	110.9	110.9	110.9	110.9	110.9
	大阪	123.8	123.6	123.6	123.4	123.0	123.0	123.0	123.0	123.0	123.0	123.0	
	東京	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0		
嗜好品	奈良	100.7	100.7	100.7	100.7	101.2	101.3	101.3	101.3	101.3	101.3	101.3	107.4
	大阪	104.8	104.8	104.8	104.8	104.8	104.8	104.8	104.8	104.8	104.8	104.8	
	東京	103.1	103.1	103.1	103.1	103.2	103.2	103.2	103.2	103.2	103.2		
繊維品	奈良	117.3	117.3	114.4	112.3	112.2	106.0	120.5	120.1	120.5	114.6	110.8	108.3
	大阪	105.4	107.1	107.0	107.0	105.1	106.1	109.7	109.7	109.4	109.3	108.6	
	東京	108.8	111.3	111.2	110.3	109.9	111.5	111.8	111.8	112.0	111.3		
建材家具	奈良	115.4	115.4	115.4	115.4	118.2	118.2	118.2	118.2	120.2	120.2	121.7	125.9
	大阪	120.4	120.4	120.4	121.0	121.1	121.1	121.4	121.4	121.4	126.1	126.1	
	東京	122.8	124.4	124.4	124.4	124.5	128.1	129.6	129.4	130.3	129.0		
燃料	奈良	127.5	127.5	127.5	127.5	127.5	127.5	127.5	127.5	129.1	129.1	129.1	129.1
	大阪	119.3	119.3	119.3	119.3	119.3	119.3	119.3	121.2	121.2	123.2	123.2	
	東京	121.4	119.5	117.6	116.7	116.7	116.7	120.0	120.7	120.7	121.1		
機械器具	奈良	91.1	91.1	91.1	91.1	91.1	91.1	91.1	91.1	91.1	91.1	91.1	91.1
	大阪	95.8	95.8	95.7	95.7	95.6	95.7	95.7	95.7	95.6	95.6	95.6	
	東京	82.2	82.2	82.7	82.7	83.1	83.1	83.1	83.1	83.1	83.1		
雑品	奈良	116.0	117.1	117.3	117.6	116.8	116.8	117.1	116.9	118.0	118.2	118.4	118.2
	大阪	111.6	111.6	111.6	112.2	112.0	112.5	112.8	112.6	113.4	114.0	112.1	
	東京	125.6	126.3	126.3	126.6	126.5	126.4	126.6	126.4	127.0	126.7		

（注）此表は昭和三十五年を基準とした月別三都市比較小売物価指数で調査対象品目一九一を全国の会議所において毎月一斉実施されるもので、経済に敏感な二大都市を対比して一目瞭然興味深いものであります。

梅尾畳店　奈良市椿井町
代表者　中川正一
㈱河合楽器製作所奈良管理母店　奈良市花芝町
代表者　池田利男
細川蒟蒻製造元　奈良市川上西町
代表者　細川長司
ニッコー住宅興業㈱　奈良市二名町
代表者　中山貴博
平田電化サービス㈱学園前支店　奈良市学園大和町
代表者　平田仁男
上山玩具店　奈良市朝日町
代表者　上山恵史
和田輪業　奈良市富雄中町
代表者　和田光秋
㈱光洋社　奈良市法蓮一条町
代表者　佐川太郎左衛門
簡保加入者サービス協会奈良支部　奈良市佐紀町
代表者　石川峻
㈱掘井製作所　奈良市西九条町
代表者　掘井義治
㈱森工務店奈良工場　奈良市西九条町
代表者　岡本善之
㈱大林組奈良出張所　奈良市中筋町
代表者　阪本弘
さゝじ植物園　生駒郡安堵村
代表者　笹治利夫
澤田商店　奈良市中清水町
代表者　澤田勝
共立電線㈱　奈良市中町
代表者　播本福一
山藤建材工業㈱　奈良市小西町
代表者　吉岡芳穂

富士会館　奈良市椿井町
代表者　中川正一
桝田勝写堂　奈良市花芝町
代表者　池田利男
井口商店　奈良市川上西町
代表者　細川長司
大同生命保険相奈良支社　奈良市二名町
代表者　中山貴博
浅川漆器店　奈良市学園大和町
代表者　平田仁男
名阪商事㈱　奈良市朝日町
代表者　上山恵史
秋元商店　奈良市富雄中町
代表者　和田光秋
西村油店　奈良市法蓮一条町
代表者　佐川太郎左衛門
東商店　奈良市佐紀町
代表者　石川峻
木虎酒店　奈良市西九条町
代表者　掘井義治
㈱尾野電業社　奈良市西九条町
代表者　岡本善之
松乃家旅館　奈良市中筋町
代表者　阪本弘
中島商店　生駒郡安堵村
代表者　笹治利夫
奈良ニュービレヂ　奈良市中清水町
代表者　澤田勝
アスター　奈良市中町
代表者　播本福一
共同プリント工房　奈良市小西町
代表者　吉岡芳穂
蔵田カメラ店　奈良市井上町
代表者　蔵田啓一

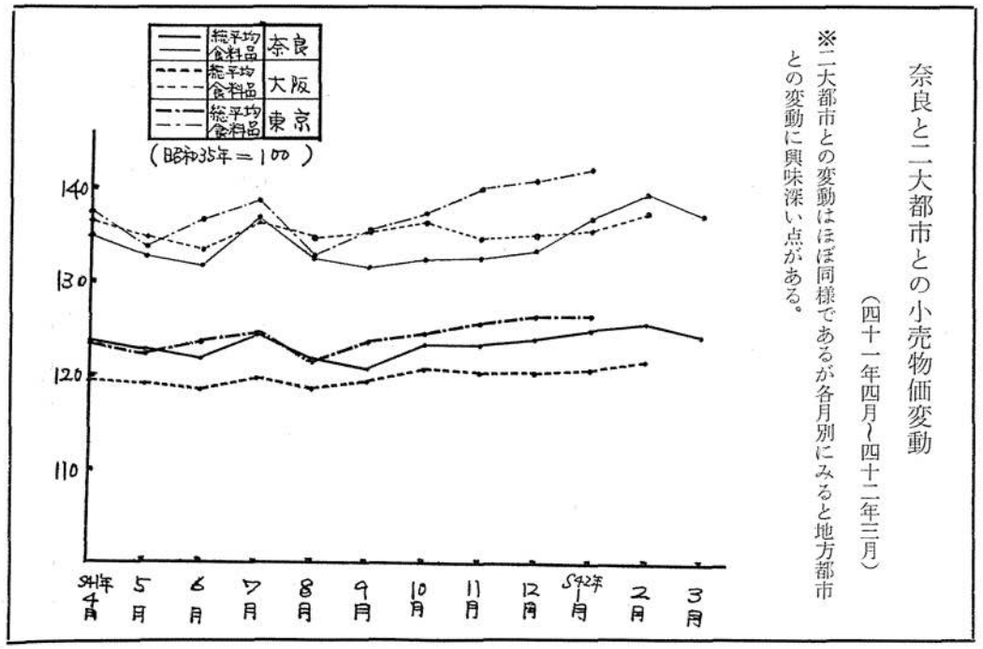
関西通信建設㈱　奈良市橋本町
代表者　劉為清
菱冷工業㈱　奈良市南城戸北方
代表者　桝田邦男
善進土木㈱　奈良市油阪町
代表者　井口直次郎
三井生命保険(相)奈良支社　奈良市本子守町
代表者　富田英二
タイガー洋品店　奈良市法蓮町
代表者　浅川孝夫
奈良プラザー販売㈱　奈良市内侍原町
代表者　吉田弘之
土居工業所　奈良市大森町
代表者　秋元ヒサエ
奈良オート電器販売㈱　奈良市阪新屋町
代表者　西村文治
稔和建設㈱　奈良市西城戸町
代表者　東繁三
森田会計事務所　奈良市佐紀二条町
代表者　木虎敏
奥田屋　奈良市中新屋町
代表者　尾野正一
三条小鍛冶宗近商店　奈良市三笠山麓町
代表者　松岡伸定
モナ美容室　奈良市椿井町
代表者　中島秀男
㈱福本建築設計事務所　奈良市橋本町
代表者　島田常次郎
㈱奈良オートセンター　奈良市学園町北一
代表者　柴峠政男
㈱山田建設　奈良市川ノ上突抜
代表者　井戸尻実
亀甲家　奈良市井上町
代表者　蔵田啓一

奈良市光明院町
代表者　桐山利雄
奈良市三条川崎町
代表者　大場定
奈良市三碓町
駒谷幸一郎
奈良市上三条町
苦木正隆
奈良市油阪町
蔵口満夫
奈良市油阪町
青木平一
奈良市あやめ池町
土居巽
奈良市西木辻町
古川健一
奈良市福智院町
中村重正
奈良市西御門町
森田功
奈良市中院町
奥田義一
奈良市若草山麓町
小鍛冶敬一
奈良市油阪町
岡埜チクエ
奈良市平松町
福本毅平
奈良市三条町
広瀬木治郎
奈良市宝来町
野村治明
奈良市西大寺町
谷口亀三

奈良と二大都市との小売物価変動

（四十一年四月～四十二年三月）

※二大都市との変動はほぼ同様であるが各月別にみると地方都市との変動に興味深い点がある。



取照引会

（売りたい）

不二式オゾン発生機　東京　不二産業㈱
運動具、バッジ、カップ
　大阪　㈱荒川帝釈
松煙　別府　平尾工芸社
観光土産品
プラスチック製戸車
　鶴岡　鶴岡商工会議所
造花、装飾品　愛媛　金子商店
室内装飾品　京都　松村工芸
工芸品、民芸品　長野　金子工芸品製作所
万年筆・ボールペン
　東京　昭和精密工業㈱
風呂用機具　中津川　中津川商工会議所
珍味、料理材料　焼津　焼津商工会議所
工芸品、民芸品　上田　上田商工会議所
カレンダー、サービスマッチ
　静岡　馬淵商会
甘栗卸　倉吉　倉吉商工会議所
ロールタオルキャビネット
　沼津　日本機械工業㈱
組立式金網柵
　大阪　エイコー道路施設㈱
焼却炉　京都　ニチボー焼却炉㈱

（買いたい）

寿フロシキ（晒生地）　鹿児島　此元商店
観光絵はがき　熊本　村上書店
鹿角製刀掛　岐阜　高田正造商店
一刀彫　函館　前田滋男
郷土玩具、工芸品　京都　長谷川正倫
靴下　高知　後藤洋品店
郷土名物食品
　名古屋　㈱オリエンタル中村百貨店
ビーチサンダル
　大阪　ハッサラム・ソンス
一刀彫　高崎　根本雇夫
割箸　佐世保　佐世保商工会議所
奈良人形　防府　小泉昇三
靴下　八戸　中村千吉
漬材料　八幡浜　二宮成美堂
郷土菓子類　盤城　万石食品㈱
シオリ、壁掛、額縁　御坊　田中丈助
鹿角加工品、毛皮なめし
　新宮　伊勢利商店
植木バチカバー、ホンコンフラワー
　倉吉　倉吉商工会議所
般若面、仁王面　明石　明石商工会議所
生理帯　福井　中村屋
孟宗竹　白石　白石商工会議所
民芸品　広島　鉄道弘済会
檜組　仙台　佐藤経木製造所
割箸、角箸　北海道　留辺蘂商工会議所
ひがん桜（たれ桜）
　北九州　北九州商工会議所
民芸品、特産物　浜松　平松和彦
民芸品、贈答品、記念品
　沖縄　朝日貿易商会
古典人形　四日市　土岐光夫
三光丸　京都　野村仙吉
茶筅　下関　作花茶舗
靴下　京都　中尾八朗

菓子作りに一生を賭ける

コロンバン社長　門倉国輝

満十才で菓子店の小僧に

鎖国の夢さめた日本が、外国の知識をどんどん取り入れて、内外に目覚しく発展しはじめた明治二十六年、日清戦争のおきる前年の九月に、私は横浜で生をうけた。

英邁なる明治大帝の改化、改革は、あらゆる行政面になされていたとはいえ、当時には児童を法律によって守る児童福祉法などはもちろんなく、家の貧しかった私は、満十才で横浜の馬車道にある風月堂に小僧として入店した。

爾来、満七十三才になる今日迄、菓子と共に育ち、菓子一筋に生き抜いてきた。云いかえれば、「菓子に生れ、菓子に育ち、そして菓子に終る一生」でありそれが私の誇りであり信条でもある。

三田の東洋軒で製菓部長をしている時、社長のおかげで、日本で最初に製菓技術を習得する留学生として渡仏することが出来た。パリのコロンバンでの修業は今の日本の労働者には想像もつかないほど厳格なもので、作業時間中は、しゃべったり煙草を喫ったりするひまなどは一切なく、みっちりと働かされる。仕事が終り、外での食事に飲む一本の葡萄酒のうまさは、たとえようもなかった。

このコロンバンで、コロンバン日本店の許可を得ることが出来たのも、私の一生を賭けた菓子に対する情熱が、国も、髪も、顔も、言葉も異ってはいても、その努力と熱意が相手に通じたものと思う。

有名な関東大震災でお世話になった東洋軒は丸焼けとなり、再起どころか従業員全部が生活にも困る状態となった。虚脱状態の皆を励ましてシウ・クリームを作っては丸ノ内へ売りに行った。食料の欠乏している時でもあり、毎日飛ぶように売れ、そのお金で給料を支払うことができ、社業の痛手に力を落とされていた社長はとても感謝しておられた。その翌年、社長のご好意で独立し、パリから譲り受けたコロンバンの看板を掲げたのが、満三十才の年であった。

独立当初は眠るひまも惜しみ、「一年間は坐って飯を食べさせないぞ」といってせわしない立食いであったが、私達夫婦に十余名の従業員も心を一つにして多忙の中にも張りのある充実した毎日でもあった。

人々がより以上の味わいのある味覚を求め始めた時、また、われわれ専門店が事業として発展する機会が到来したのである。その機会を見事に捉らえたのが、有名専門店を一堂に集め、のれん街を作った渋谷東横である。その先見の明と戦後の様相によって変化した地の利とがあいまって、それ以後の、「のれん街」のはしりをなし、一躍その名は日本国中に広まった。

東横のれん街の繁盛と、東京駅名店街の成功は、とりもなおさず私の事業にとってもその後の発展の基盤となる大きな力を会社に与えた。この二つの成功がきっかけとなって、デパートやターミナルに、のれん街、名店街のブームを作り上げたが、それらと共にコロンバンも発展して行き、商店経営から会社経営へと脱皮を図るべき時が来た。この転身すべき時を捉らえる時期が中小企業にとっては重要でかつ慎重を期すべき時ではなかろうか。

急激に膨脹した時にありがちの人材不足、教育の不徹底、賃金の格差、厚生施設の不備、労働条件の不満等が、後を振り返える余裕すらない発展途上に一つの大きな影を落とすものである。それらの不満を何にぶっつけて良いか判らないでモヤモヤしているうちに、自分達を守るすべとして組合結成にと走って行く。税金と組合の洗礼を受けてこそ事業は発展すると、よく云われるが、組織と賃金体系を作りあげるべく、コンサルタントに依頼して実行に移すその日に労働組合が結成された。

三十八年五月二十五日のことであったが、それから三年経た四十一年四月二十九日をもってその組合が解散する迄には色々の問題があった。昨日迄仲睦じくお互いに語り合っていた従業員は、まさに仇敵の如くに姿を変え、家庭的なムードというよりややのんびりしていた社内の空気は猛々しくなり、従業員との間に一本の大きな太い線が敷かれてしまった。

三年間における苦労は、相手も大変だったかもしれないが、ここまで、命を賭けて作りあげた事業を潰されてなるものかと必死に戦った。今は健全な企業内組合と労使協調しあって会社発展のために共に努力しているが、この問題ではすべてが悪いことばかりであったのではなく、会社は過去における不合理な点を反省是正し、組合も闘争することのみが組合でないことを反省し、会社の置かれている立場、現状等をよく理解するようになった。

七十三才とはいえ、まだまだ若い私は、これからも大いに知識を吸収しながら自分の一生を賭けた菓子作りの仕事に熱意を燃やし、現在も不良品を踏みにじりつつ、会社のため、従業員のため、そして自分のためにつくすことこそ、また、社会に対してつくす道であり、この闘魂こそが事業成功に結びつくものであると信じている。（全国観光土産品連盟会長、勲五等瑞宝章受章）

当所の巡回スライドフィルム名

○商店経営シリーズ

1 明日はどうなる?。
2 あなたの仕事に誇りを持とう。
3 売れているのになぜ儲からぬ。
4 軌道にのった繁栄。
5 新しい店舗。
6 強力店と競争するには。
7 ミツバチ戦術。
8 店員は何を求めているか。
9 ちょいと東京の人。
10 上手な販売、下手な販売。
11 乱売店も怖くない。
12 接客第一歩。
13 あなたの店ではやっていますか?。
14 サービスとは。
15 商品の顔、札の顔。
16 売掛金回収の秘訣。
17 売れる客層のつかみかた。
18 新人の育て方。
19 販売効率をあげるには。
20 上手なお客の応待法。
21 上手なお店の広告戦略。
22 経営改善への道。
23 お客は常に正しい。
24 販売値段は一つしかない。
25 お客は満足をかう。
26 商店における陳列と照明。
27 〃 (最寄品の部)
28 新しい販売。
29 商店街活動。
30 接客サービスの向上。(上)
31 〃 (下)
32 店員の傭入れと労働条件。
33 福祉施設と余暇善用。
34 包装の仕方。(基本編)
35 〃 (応用編)
36 品質表示と販売促進。
37 商工会議所とは。
38 繁栄する商店街。
39 店頭販売の秘訣(接客編)
40 店頭販売の秘訣(陳列編)
41 これからの小売商店の生きる道。
42 今日の店舗、明日の繁栄。
43 税金を怖れない経営。
44 貴方にも開かれている金融の窓口。
45 働きよい店、のびる店。
46 若い芽を育てよう。
47 みんなで街づくり。
48 商店の労務管理(上)
49 〃 (下)
50 これからの商店主婦。
51 お客さまの買物心理。

○工場経営シリーズ

1 カギは貴方が握っている。
2 楽しい職場を作るには。
3 ぼやぼやしちゃいられない。
4 やさしい複式簿記。
5 新しい人間関係。
6 人間関係のポイント。
7 あなたもコストダウンが出来る。
8 我々は原価を作っている。
9 下請企業の経営改善。
10 売れる製品の作り方。
11 所得税のいろは。
12 中小企業の産業安全。
13 品質管理とは。

○実務訓練関係

1 正しい電話の応接。
2 正しい受付と接待の仕方。
3 正しい態度。
4 積極性を伸ばすには。
5 命令の受け方、報告の仕方。
6 会議の開き方。
7 話し方の技術。
8 T・W・Iとは。
9 教え方の四段階。
10 人を協力させるには。
11 作業分析。
12 安全。
13 電話の心得。
14 停れ、見よ、そして訊ねよ。
15 職場のモラール。
16 新らしい労使の在り方。(新巻)
17 店員訓練。(新巻)
18 楽しい職場を作るには。
91 経営改善への道。
20 新時代の社員として(組織と個人の調和)
21 販売を成功させるには(訪問のしかた、話しかた)

御申込は
当所業務課へ
電話㉓六〇七五(代)

昭和四十二年三月二十五日印刷
昭和四十二年四月一日発行
奈良市東向中町六
編集兼発行人 中村貞三
奈良市尼辻町一丁目五七七
印刷人 近東弘七
奈良市尼辻町一丁目五七七
印刷所 共同精版印刷株式会社
奈良市東向中町六
発行所 奈良商工会議所
電話奈良㉓六〇七五(代)

トラックボデー 冷凍車ボデー
各種バンボデー 冷蔵車ボデー
建設機械運搬車ボデー 各種特殊用途車
各種自動車ボデー改造及追加工作

奈良車体株式会社

代表取締役 小玉勲

奈良市油阪町三二八番地
電話(奈良)㉝四四〇一(代)～五

国内旅行及び海外旅行の御相談は
親切、迅速をモットーとする日通観光へ

奈良市油阪町一四
日本通運株式会社奈良支店
支店長 金島二郎
電話奈良㉓自一二六一 至一二六八(代表)

事業種目
鉄道貨物、トラック輸送、倉庫事業、国際輸送、航空、海運、港湾運送、観光業務


興福寺(仏頭)

奈良・大和路のご遊覧は……

奈良名所遊覧バス

A(I). 公園名所めぐり 約3時間
A(II). 公園名所ドリームランドめぐり 約5時間30分
B. 春日奥山めぐり 約1時間30分
C. 奈良奥山めぐり 約2時間
D. 奈良・法隆寺めぐり 約6時間30分
E. 法隆寺・西の京めぐり 約4時間30分
F. 平城・西の京めぐり 約6時間
G. 法隆寺・天理めぐり 約3時間30分
H. 飛鳥・法隆寺めぐり 約6時間30分

のりば▶国鉄、近鉄奈良駅(但し春日奥山めぐり奈良奥山めぐりは近鉄奈良駅前のみ)
お問合せ▶日本交通公社・近畿日本ツーリスト日本旅行会の各営業所へどうぞ

奈良交通定期観光営業所
TEL 奈良㉒5263
奈良交通

当所の巡回スライドフイルム名

○商店経営シリーズ

1 明日はどうなる?。
2 あなたの仕事に誇りを持とう。
3 売れているのになぜ儲からぬ。
4 軌道にのった繁栄。
5 新しい店舗。
6 強力店と競争するには。
7 ミツバチ戦術。
8 店員は何を求めているか。
9 ちょいと東京の人。
10 上手な販売、下手な販売。
11 乱売店も怖くない。
12 接客第一歩。
13 あなたの店ではやっていますか?。
14 サービスとは。
15 商品の顔、札の顔。
16 売掛金回収の秘訣。
17 売れる客層のつかみかた。
18 新人の育て方。
19 販売効率をあげるには。
20 上手なお客の応待法。
21 上手なお店の広告戦略。
22 経営改善への道。
23 お客は常に正しい。
24 販売値段は一つしかない。
25 お客は満足をかう。
26 商店における陳列と照明。
27 〃 (最寄品の部)
28 新しい販売。
29 商店街活動。
30 接客サービスの向上。(上)
31 〃 (下)
32 店員の傭入れと労働条件。
33 福祉施設と余暇善用。
34 包装の仕方。(基本編)
35 〃 (応用編)
36 品質表示と販売促進。
37 商工会議所とは。
38 繁栄する商店街。
39 店頭販売の秘訣(接客編)
40 店頭販売の秘訣(陳列編)
41 これからの小売商店の生きる道
42 今日の店舗、明日の繁栄。
43 税金を怖れない経営。
44 貴方にも開かれている金融の窓
45 働きよい店、のびる店。
46 若い芽を育てよう。
47 みんなで街づくり。
48 商店の労務管理(上)
49 〃 (下)
50 これからの商店主婦。

クーラーで
夏を涼しく!

健康的で能率的なルームクーラーで今年の夏をどうぞ

- クーラーのお申し込みはお早目に
- 予約申込(4月末まで)制度をご利用ください。
- ご家庭用には単相クーラーをおすすめします。
- お問合せは近くの関西電力へ

関西電力株奈良支店

支店長 高村栄一

奈良市大森町48 TEL奈良㉑1201(代)

トラックボデー 冷凍車ボデー
各種バンボデー 冷蔵車ボデー
建設機械運搬車ボデー 各種特殊用途車
各種自動車ボデー改造及追加工作

奈良車体株式会社

代表取締役 小玉勲

奈良市油阪町三二八番地
電話(奈良)㉝四四〇一(代)~五

奈良近鉄タクシー株式会社

本社 奈良㉓1181 大代表

取締役社長 杉本勝彦

<事業場一覧>

奈良	奈良㉒5501代	学園前	奈良㊺0091代	高田	高田②5921
西御門	〃 ㉒5271	登美が丘	〃 ㊺0781	桜井	桜井 6288代·2070
油阪	〃 ㉒5268	富雄	〃 ㊺0096・0981	榛原	榛原 551代
紀寺	〃 ㉓1185	生駒	生駒 2067・4321	大宇陀	大宇陀 18・49
大安寺	〃 ㉒8680	生駒台	生駒 2965	五条	五条 3297代
法華寺	〃 ㉒0966	九条	郡山 4246	下市	下市 3705代
尼ケ辻	〃 ㉝6461	天理	天理②1453・0082	上市	吉野 2961代
西大寺	〃 ㊺0987代	八木	橿原 2141・4311 6632	吉野山	〃 3021
あやめ池	〃 ㊺0095	壺阪	高取 43	柏木	柏木 33

国内旅行及び海外旅行の御相談は

親切、迅速をモットーとする日通観光へ

奈良市油阪町一四

日本通運株式会社奈良支店

支店長 金島一郎

電話奈良㉓(自)一二六一 (至)一二六八(代表)

事業種目

鉄道貨物、トラック輸送、倉庫事業、国際輸送、航空、海運、港湾運送、観光業務

TOYOGLIDE

ワイドセレクション



高級車から実用車まで
お好みで選べる
トヨペットクラウン

室内装備など322種にのぼる
豊富なバリエーションです。

トヨペット クラウン デラックス

トヨペットコロナバン デラックス 1500cc



洗練されたスタイルが魅力
乗用車なみの装備が魅力
高性能のエンジンが魅力

御試乗又は車に関するお問い合せは

生産・販売・輸出 トヨタ 第1位

奈良トヨタ自動車株式会社

奈良市杉ヶ町30番地
電話奈良㉒1151番（大代表）

高田営業所　大和高田市神楽67の1
電話大和高田②1151～4番